



東京都羽村市羽4122-2 電話 042-554-7800

「見えないものを見る」ということ

校長 鳥居 夕子

学校生活が再開し、現在はパラリンピックも開催され、日々選手たちの活躍が報じられています。また、同時に新型コロナウイルスの感染者の多さに対応しきれない医療機関等のひっ迫した様子や必要な医療を受けることができずに苦しんでいる人たちの声が様々な報道を通して、毎日私たちに届けられています。

夏休み明けの初日、元気に登校する児童を迎え、子供たちの笑顔を間近に見られる幸せを感じながら、今この瞬間も、新型コロナウイルスと戦っている多くの人たちが存在していることをふと考えました。

私たちの多くが「今」見ている景色の中には、人工呼吸器に命を委ねている患者さんも、昼夜問わず、その命を守るために働く医療従事者も見えません。また、その患者さんの苦しみや医療従事者の皆さんの苦労を体感することもできません。だからこそ今『想像』することが大切だと感じています。『想像』することは、単に情景を思い浮かべるだけでなく、人の気持ちに寄り添うことです。入院できずに自宅療養をされている方のご家族は、症状の急変に常に不安を抱えながらも世話をし、見守ることしかできない辛さを抱えて日々生活しています。どんなに心細い思いをしていることでしょうか。『想像』することは、「自分だったら」と考えることにつながり、自分が感染しないことや他者へ感染させないための行動につながっていきます。

『想像』することは、見えないものを見るということですが、それにより、深く考えたり、行動を変えたりすることのできる人間に与えられた大切な機能です。子供のうちから、絵本を読んで聞かせるなどするのは、『想像力』を育むのにはとても良い習慣です。現在行われているパラリンピックも、ただ映像を見るだけでなく、パラアスリートがどのような環境で練習に励んできたのか、パラリンピックに出場するまでにどのような苦難を乗り越えてきたのか、様々な情報から『想像』してみてください。一人一人の選手がメダル以上に輝いて見えるはずですが。

最後に、9月10日～9月16日は「自殺予防週間」です。心の痛むことですが、長期休業明けは、児童・生徒の自殺が増加する時期と言われています。特にコロナ禍においては、不安や悩みを抱える子供たちが増えていると考えられます。

- これまでに関心のあった事柄に対して、興味を失う。
- 成績が急に落ちる。
- 不安やイライラが増し、落ち着きがなくなる。
- 投げやりな態度が目立つ
- 健康管理や自己管理がおろそかになる。

以上のような変化が見られたら、その姿や言動から、子供の置かれている状況に思いを寄せ、大切な命を守りましょう！今こそ大人たちの想像力を働かせるときです。